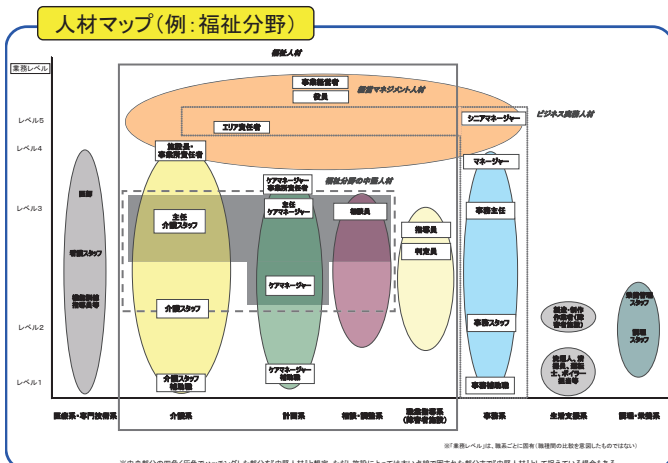
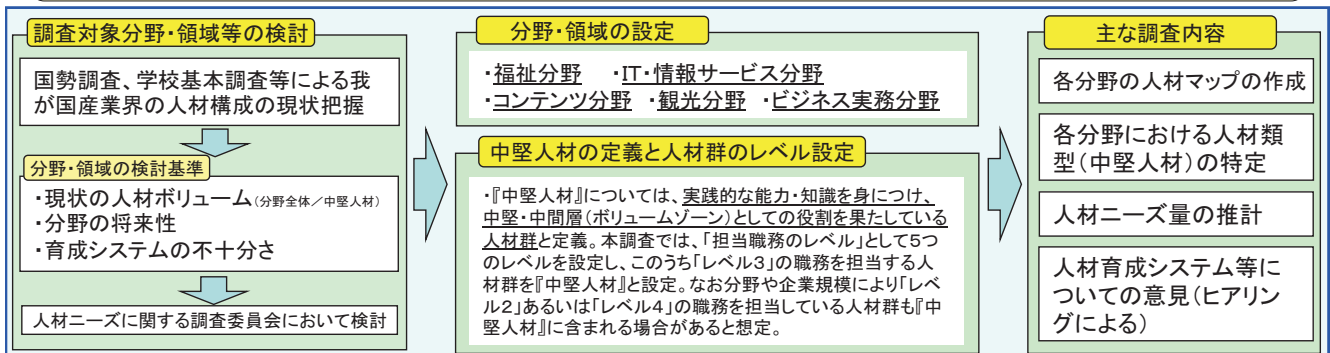


II. 課題認識 関連

我が国の企業等における中堅人材の人材ニーズに関する調査研究

職業実践的な教育に特化した枠組みを活用して育成することが求められる、経済社会活動のボリュームゾーンをなす中堅人材について、その職業や業種、求められる分野・領域を明らかにする



各分野における中堅人材の人材ニーズ量の推計

分野	推計量	備考
福祉	高齢者介護分野 約31万人 (常勤換算)	広く捉えた場合は約51万人 (常勤換算)
IT・情報サービス	約37万人	
コンテンツ	Webコンテンツ制作及び アニメ制作分野 約2万人	
観光	旅行業 約6万人 宿泊業 約16万人	
ビジネス実務	販売部門 約18万人 経理部門 約14万人 人事部門 約8万人	広く捉えた場合は 販売部門 約327万人 経理部門 約23万人 人事部門 約15万人

資料：株式会社三菱総合研究所「わが国の企業等における中堅人材の人材ニーズに関する調査研究」

(参考)就業者数の多い職業、増加数の多い職業

就業者数の多い上位50職業

年齢計の人数でのソート		総数	年齢計30～49歳の人数でのソート		30～49歳
1	61	9,314,766	1	61	4,723,990
2	73	3,458,811	2	73	1,074,507
3	112	2,349,127	3	76	1,161,058
4	62	2,269,180	4	62	1,050,642
5	76	2,021,040	5	125	742,981
6	89	1,890,600	6	80	668,204
7	125	1,733,283	7	89	660,471
8	80	1,246,372	8	18	599,441
9	272	1,133,282	9	10	520,437
10	91	1,132,086	10	272	431,993
11	19	1,066,795	11	268	392,455
12	53	1,050,789	12	91	363,692
13	270	998,148	13	104	309,673
14	268	843,641	14	161	306,930
15	10	819,984	15	264	306,611
16	271	819,509	16	163	300,861
17	104	742,176	17	265	294,134
18	262	728,863	18	112	289,162
19	189	712,839	19	160	279,133
20	160	666,882	20	189	258,886
21	161	657,531	21	270	248,902
22	70	653,327	22	35	239,019
23	264	637,432	23	57	230,929
24	163	591,929	24	271	230,445
25	255	539,888	25	25	214,764
26	25	486,287	26	241	202,475
27	86	461,161	27	26	199,242
28	170	454,000	28	170	198,153
29	35	421,413	29	76	196,907
30	26	419,296	30	162	190,501
31	94	407,274	31	6	188,132
32	79	404,457	32	251	180,544
33	251	402,357	33	255	174,347
34	162	396,946	34	9	169,669
35	243	375,789	35	86	166,971
36	241	348,560	36	5	163,481
37	78	337,687	37	243	161,127
38	110	335,300	38	37	158,888
39	184	330,618	39	70	157,203
40	83	327,680	40	36	149,736
41	242	322,847	41	83	148,737
42	260	313,311	42	260	143,757
43	239	311,770	43	168	130,245
44	6	306,797	44	267	129,274
45	37	303,710	45	239	129,020
46	37	296,007	46	184	127,574
47	59	298,640	47	12	125,962
48	5	284,038	48	126	123,978
49	267	282,759	49	242	120,913
50	269	257,400	50	107	119,535

(国勢調査15年、17年より)

就業者増加数の多い上位50職業

年齢計の人数でのソート		総数	年齢計30～49歳の人数でのソート		30～49歳
1	272	391,472	1	61	559,666
2	104	383,871	2	104	177,839
3	61	371,567	3	272	177,839
4	83	189,516	4	18	88,956
5	270	130,581	5	83	78,963
6	73	116,295	6	73	71,982
7	72	97,571	7	10	65,285
8	188	73,050	8	161	49,681
9	243	71,216	9	243	39,568
10	108	67,087	10	264	34,810
11	161	65,760	11	268	28,805
12	26	57,808	12	105	28,165
13	264	52,518	13	264	27,883
14	267	46,653	14	267	25,841
15	268	42,805	15	26	23,091
16	10	42,497	16	163	19,239
17	86	40,394	17	91	17,987
18	110	38,093	18	241	17,508
19	19	30,538	19	21	16,021
20	27	22,483	20	25	15,143
21	78	21,501	21	15	14,292
22	21	20,933	22	27	13,648
23	63	19,056	23	86	13,135
24	91	18,927	24	80	11,913
25	23	17,630	25	65	11,623
26	30	16,950	26	270	11,212
27	52	16,459	27	170	11,421
28	26	13,076	28	52	9,647
29	12	12,966	29	45	9,077
30	111	10,730	30	110	8,596
31	54	10,573	31	23	8,482
32	24	10,076	32	145	7,903
33	96	10,014	33	169	7,735
34	184	9,904	34	68	7,680
35	168	9,137	35	184	7,319
36	134	9,021	36	131	7,026
37	228	9,012	37	54	7,026
38	107	8,933	38	256	6,538
39	66	8,808	39	238	6,772
40	131	8,416	40	78	6,604
41	103	8,147	41	260	6,263
42	242	8,121	42	262	5,085
43	23	8,010	43	103	4,572
44	33	6,354	44	167	4,320
45	68	6,257	45	134	4,146
46	189	5,790	46	189	4,004
47	31	5,401	47	106	2,873
48	143	5,274	48	43	2,874
49	87	4,983	49	24	2,824
50	13	4,970	50	218	2,650

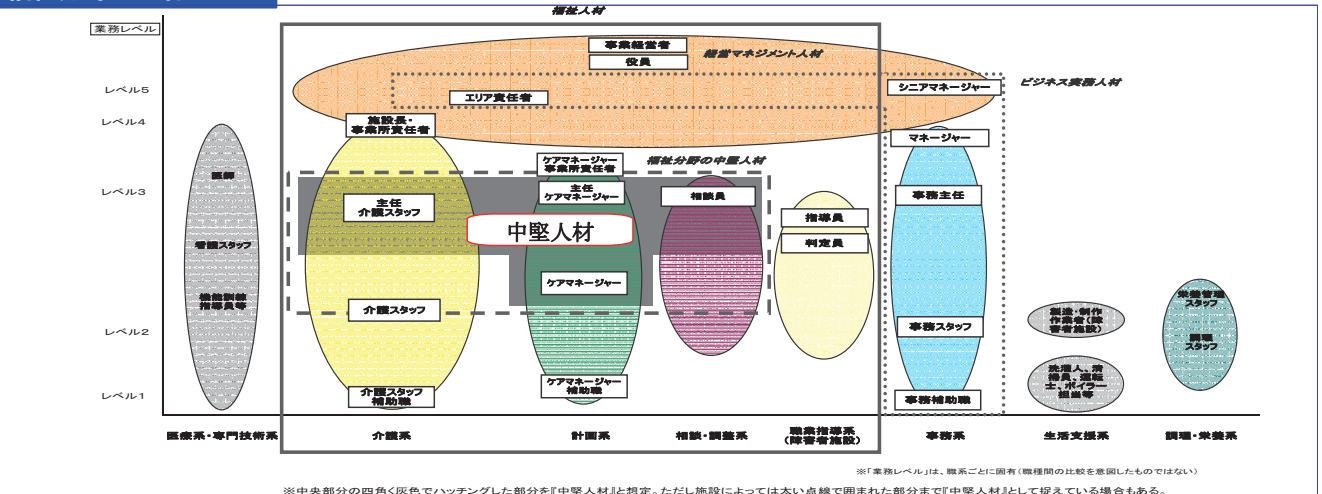
※出典：平成21年度 生涯学習施策に関する調査研究～我が国の企業等における中堅人材の人材ニーズに関する調査研究～(株式会社三菱総合研究所)

(参考)医療・福祉・健康分野の中堅人材

医療・福祉・健康分野の中堅人材*モデルと、その推定される需要量

*中堅人材とは、「実践的な能力・知識を身につけ、中堅・中間層としての役割を果たしている人材群」を指し、5段階業務レベル区分におけるレベル3が主に該当する。

福祉分野の人材マップ



※業務レベルは、職業ごとに固有の職種間の比較を意図したものでない。
※中央部分の四角く灰色でハッチングした部分は『中堅人材』と想定。ただし施設によっては本点色線で囲まれた部分まで『中堅人材』として扱っている場合もある。

福祉分野中堅人材の推定需要量

施設分類	居室介護支援事業所	地域包括支援センター	訪問介護等	通所介護等	短期入所生活介護等	介護老人福祉施設等	特定施設入居者生活介護等	計	
人数	ケアマネージャー	64,529	6,000	-	-	2,335	14,238	8,487	95,589
	相談員	-	-	-	31,376	4,515	13,457	2,802	52,150
	介護スタッフ	-	-	169,634	150,082	69,392	295,127	135,819	820,054
介護内訳	主任介護スタッフ	-	-	16,963	7,504	10,409	29,513	13,582	77,971
	介護スタッフ(正規職員)	-	-	16,963	22,512	45,105	132,807	67,910	285,297
	介護スタッフ(非正規職員)	-	-	135,707	120,066	14,609	73,782	54,328	398,491
	介護スタッフ補助職	-	-	0	0	13,878	59,025	0	72,904
ケアマネ	主任ケアマネージャー	16,132	6,000	-	-	0	0	0	22,132
	ケアマネージャー(正規職員)	16,132	0	-	-	0	14,238	8,487	38,857
	ケアマネージャー(非正規職員)	16,132	0	-	-	0	0	0	16,132
	ケアマネージャー補助職	16,132	0	-	-	0	0	0	16,132

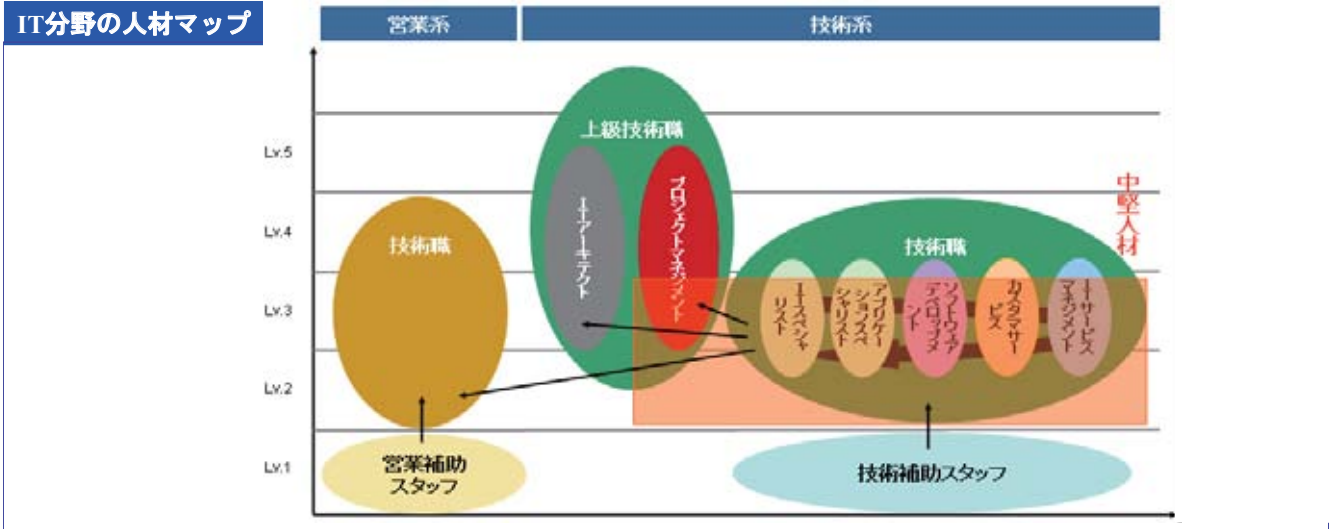
約31万人
(ケアマネージャー・相談員・介護スタッフの合計)

*ヒアリング調査を基に各種施設の中堅人材にあたる人材類型の構成割合を算出し、これを常勤者数に掛けて算出した。

出典：三菱総合研究所作成 平成21年度 生涯学習施策に関する調査研究

(参考)IT分野の中堅人材

IT分野の中堅人材モデルと、その推定される需要量



IT分野中堅人材の推定需要量

出典：三菱総合研究所作成 平成21年度 生涯学習施策に関する調査研究

ITスキル標準職種	職種別割合×推定数				
	Lv5	Lv4	Lv3	Lv2	Lv1
マーケティング	381	443	1,993	1,714	1,133
セールス	2,119	2,024	24,273	25,415	19,328
コンサルティング	18,366	2,085	8,092	4,483	3,182
ITアーキテクト	987	1,327	19,267	7,577	5,890
プロジェクトマネジメント	32,200	4,883	49,992	33,208	15,844
ITスペシャリスト	839	451	20,880	29,553	32,719
アプリケーションスペシャリスト	2,022	1,052	53,073	102,048	128,928
ソフトウェア開発	238	128	10,050	18,595	20,850
ソフトウェアテスト	188	87	7,260	15,718	12,805
ITサービスマネジメント	335	145	7,623	17,601	24,398
エデュケーション	55	40	776	1,069	538
その他	35	54	7,152	4,823	9,831
IT人材数(計)	12,882	9,865	202,084	281,583	275,259

中堅人材	職種別割合×推定数				
	Lv5	Lv4	Lv3	Lv2	Lv1
上級技術職					
プロジェクトマネージャー			49,992	33,208	
技術職					
ITスペシャリスト			20,880	29,553	
アプリケーションスペシャリスト			53,073	102,048	
ソフトウェア開発			10,050	18,595	
ソフトウェアテスト			7,260	15,718	
ITサービスマネジメント			7,623	17,601	
合計			148,878	216,723	

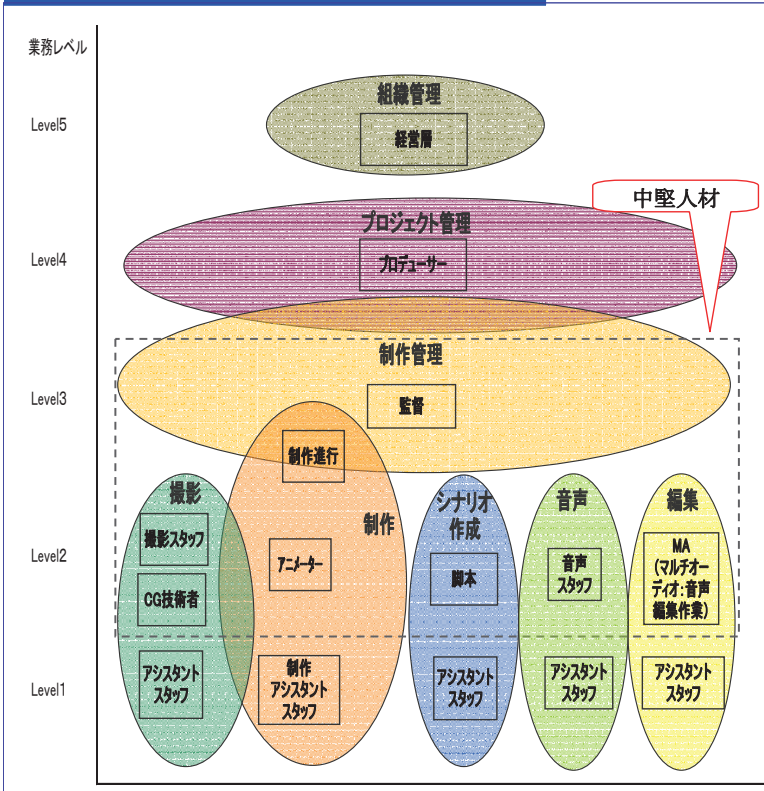
約37万人の需要
(技術職5職種、上級技術職1職種合計)

*ヒアリング調査を基に中堅人材にあたる5職種を設定し、情報処理推進機構「IT人材白書」を参考に、該当職種の勤務者数を算出した。

(参考)クリエイティブ分野の中堅人材

クリエイティブ分野の中堅人材モデルと、その推定される需要量。

コンテンツ分野（アニメ制作）の人材マップ



福祉分野中堅人材の推定需要量

業務レベル	WEBコンテンツ分野		アニメ分野		合計 人数
	比率	人数	比率	人数	
5	6%	1,272人	19%	997人	2,269人
4	6%	1,272人	9%	472人	1,744人
3	12%	2,544人	19%	997人	3,541人
2	68%	14,416人	53%	2,782人	17,198人
1	8%	1,696人	0%	0人	1,696人
合計	100%	21,200人	100%	5,248人	26,448人

約2万人の需要
(WEB・アニメ分野の合計)

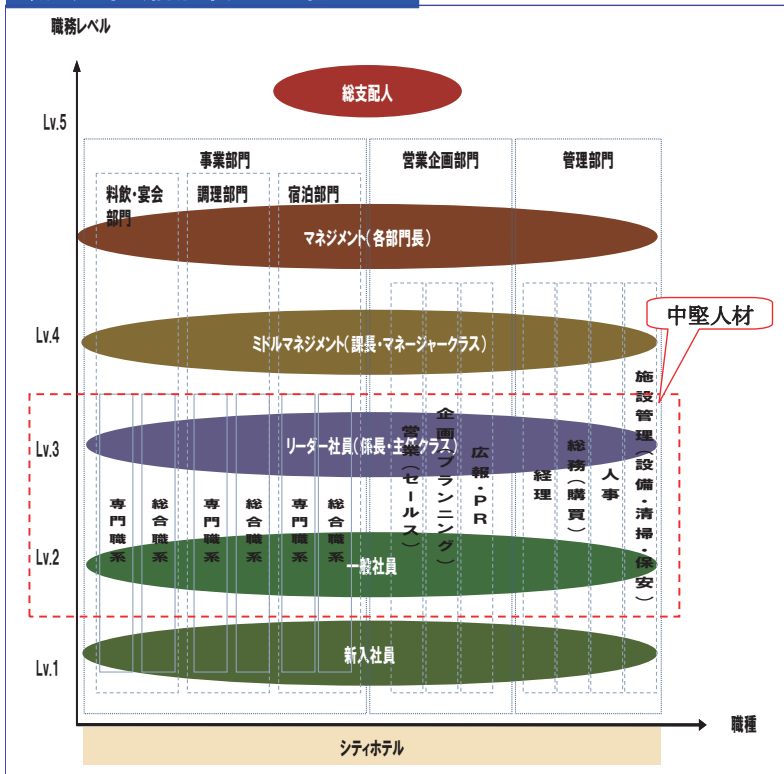
*ヒアリング調査を基に各種施設の中堅人材にあたる人材タイプの構成割合を算出し、これを常勤者数に乗じて算出した。

出典：三菱総合研究所作成 平成21年度 生涯学習施策に関する調査研究

(参考)観光分野の中堅人材

観光分野の中堅人材モデルと、その推定される需要量。

観光分野（宿泊業）の人材マップ



観光分野中堅人材の推定需要量

業務レベル	比率	人数	
5	13%	14,063	
4	19%	20,779	
3	35%	39,390	
2	17%	18,960	
1	16%	18,051	
合計	100%	111,246	「宿泊業」就業者総数

*ヒアリング調査を基に各種施設の中堅人材にあたる人材類型の構成割合を算出し、これを常勤者数に乗じて算出した。

宿泊業中堅人材の推定需要量

就業者数合計	621,543
内、中堅人材に該当する者(割合)	155,621 (25.0%)

*30~34歳の年代を中堅人材と設定

約22万人の需要
(宿泊業・旅行業の合計)

—29— 出典：三菱総合研究所作成 平成21年度 生涯学習施策に関する調査研究

(参考)産業別就業者の見通し

「新成長戦略」(平成22年6月18日閣議決定)の目標値を踏まえた2020年の産業別の就業者の将来推計によると、2020年までに成長分野として医療・福祉、情報通信業、製造業分野の就業者が増

(万人)

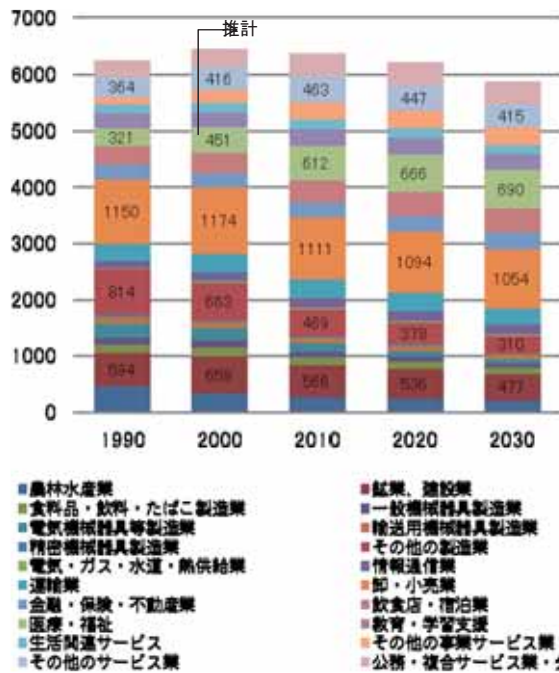
	2009年実績	2020年推計値 (基本ケース)	増減	増減(%)
合計	6282	6227	▲ 55	-0.9%
農林水産業	262	226	▲ 36	-13.7%
鉱業・建設業	520	453	▲ 67	-12.9%
製造業	1073	1140	▲ 67	6.2%
電気ガス水道熱供給業	34	33	▲ 1	-2.9%
情報通信業	213	313	▲ 100	46.9%
運輸業	326	302	▲ 24	-7.4%
卸売・小売業	1097	1029	▲ 68	-6.2%
金融保険・不動産業	248	235	▲ 13	-5.2%
飲食店・宿泊業	338	245	▲ 93	-27.5%
医療・福祉	621	851	▲ 230	37.0%
教育・学習支援	291	291	0	0.0%
生活関連サービス	164	145	▲ 19	-11.6%
その他のサービス業	1095	964	▲ 131	-12.0%

(独)労働政策研究・研修機構「産業別就業者数の将来推計」(平成22年12月)より作成

(参考) 人材需要に関する調査事例

- 独立行政法人労働政策研究・研修機構, 2005年「労働力需給の推計-労働力供給モデル(2004年度版)による将来推計」

2030年までの産業別就業者数を推計。2000年の実績と比較して、医療・福祉で239万人の増加。



-31-

将来的な雇用ニーズに関する提言等

■ 経済財政改革の基本方針2009～安心・活力・責任～(平成21年6月23日 閣議決定)(抄)

「低炭素、健康長寿、ソフトパワーなどの分野で世界最先端の「未来市場」を創出し、市場とイノベーションの好循環を生み出すことにより、国際的な競争優位の獲得と質の高い雇用の創造を図る。」

■ 雇用安定・創出の実現に向けた政労使合意(平成21年3月)(抄)

「我が国の将来的な経済成長、国民生活の向上、産業競争力の強化、地域の活性化等につながる分野、とりわけ、医療、介護、保育、環境、農業、林業等、成長が見込まれる分野において、雇用の受け皿を確保するため雇用創出が必要である。」

■ 雇用政策基本方針(平成20年2月 厚生労働省告示)(抄)

3 今後重点的に展開していく具体的な施策の方向性

当面5年程度の間に取り組むべき雇用政策の方向性

(2)[4] 中小企業や福祉・介護分野の人材確保対策

- ・ものづくり産業の国際競争力を支える人材を育成するための高度な知識と技能・技術を兼ね備えた実践的技能者の養成
- ・中小企業におけるものづくり人材の確保・育成、技能継承の促進
- ・高齢化の進展に伴いニーズ増大が見込まれる産業である福祉・介護分野の計画的な人材育成

■ 雇用創出企画会議第三次報告書(平成18年8月 雇用創出企画会議)(抄)

新たな雇用創出が期待される新しいサービス分野

- 情報サービス分野(ユビキタスネット社会におけるソフトウェア開発やシステム開発)
- 健康サービス分野(フィットネス分野、エステティック分野)
- ロジスティック分野(物流サービス)
- 社会人教育サービス

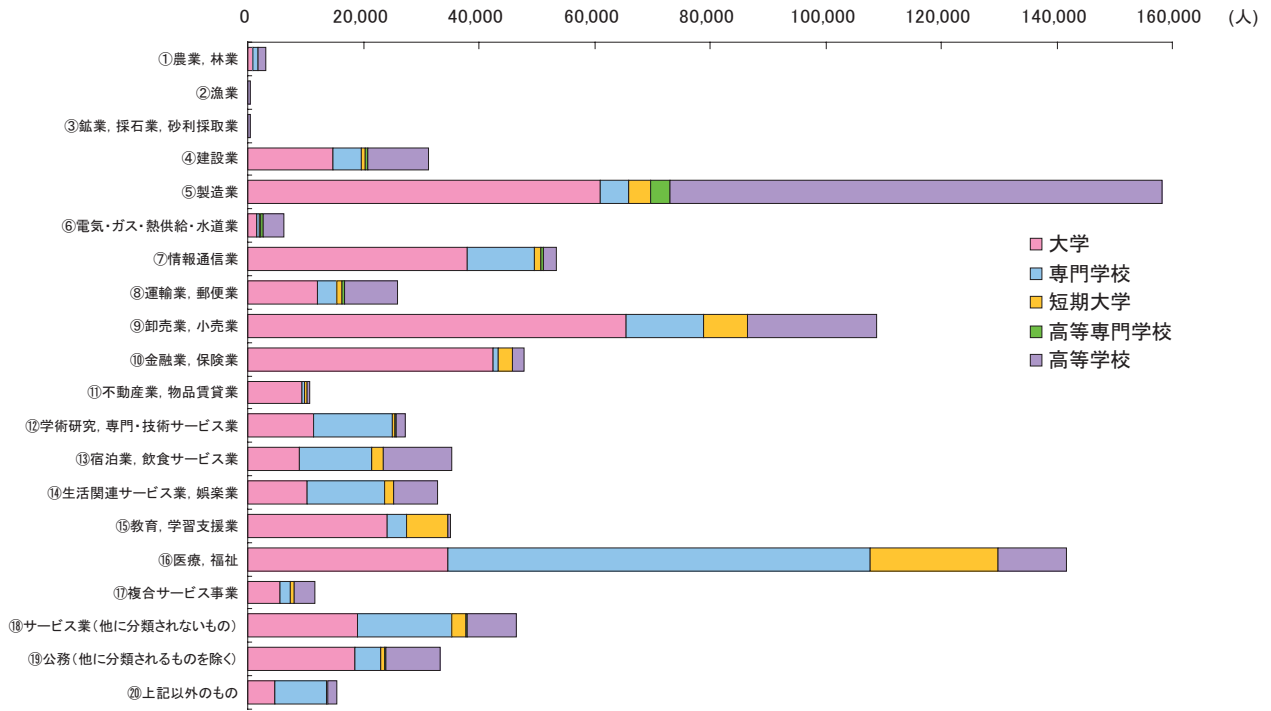
■ 雇用創出企画会議第一次報告書(平成15年5月 雇用創出企画会議)(抄)

雇用創出が期待できる分野

- 地域の問題に対して事業展開が期待される分野
 - ・コミュニティ・ビジネス分野
 - －多様で柔軟なサービスを提供する地域密着型の小規模ビジネス
 - －福祉、介護、教育、文化、環境保護など従来公共サービスとして提供されていた分野で事業を拡大
- 新産業の創造に伴い専門的・技術的な職業能力が必要になる分野
 - ・環境技術関連分野
 - ・情報通信関連分野
 - ・住宅関連分野など

-32-

大学、短期大学、専門学校、高等専門学校、高等学校の卒業生の産業別就職者数



(参考:各学校種ごとの産業別就職者数)

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)
大 学	830	68	84	14,812	61,086	1,507	37,929	12,073	65,377	42,546	9,281	11,321	8,864	10,246	24,074	34,658	5,586	19,009	18,498	4,636
短 期 大 学	116	3	12	554	4,007	124	975	839	7,552	2,559	466	538	1,931	1,543	7,097	22,285	558	2,509	644	275
専 門 学 校	946	0	0	4,917	4,728	567	11,725	3,404	13,616	756	567	13,616	12,670	13,427	3,404	72,995	1,891	16,263	4,539	8,888
高 等 専 門 学 校	2	0	8	397	3,207	391	588	366	38	16	18	179	7	15	8	5	56	162	125	22
高 等 学 校	1,205	317	233	10,502	85,282	3,694	2,147	9,141	22,195	2,040	478	1,563	11,729	7,716	428	11,623	3,479	8,627	9,464	1,700

資料:文部科学省「学校基本調査」(平成21年度)(専門学校については、文部科学省調査(H20)による)

-33-

「学士力」

学士課程の各専攻分野を通じて培う力。教養を身に付けた市民として行動できる能力。

～学士課程共通の「学習成果」に関する参考指針～

1. 知識・理解

専攻する特定の学問分野における基本的な知識を体系的に理解するとともに、その知識体系の意味と自己の存在を歴史・社会・自然と関連付けて理解する。

- (1)多文化・異文化に関する知識の理解
- (2)人類の文化、社会と自然に関する知識の理解

2. 汎用的技能

知的活動でも職業生活や社会生活でも必要な技能

- (1)コミュニケーション・スキル
日本語と特定の外国語を用いて、読み、書き、聞き、話すことができる。
- (2)数量的スキル
自然や社会的現象について、シンボルを活用して分析し、理解し、表現することができる。
- (3)情報リテラシー
情報通信技術(ICT)を用いて、多様な情報を収集・分析して適正に判断し、モラルに則って効果的に活用することができる。
- (4)論理的思考力
情報や知識を複眼的、論理的に分析し、表現できる。
- (5)問題解決力
問題を発見し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を確実に解決できる。

3. 態度・志向性

- (1)自己管理能力
自らを律して行動できる。
- (2)チームワーク、リーダーシップ
他者と協調・協働して行動できる。また、他者に方向性を示し、目標の実現のために動員できる。
- (3)倫理観
自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる。
- (4)市民としての社会的責任
社会の一員としての意識を持ち、義務と権利を適正に行使しつつ、社会の発展のために積極的に関与できる。
- (5)生涯学習力
卒業後も自律・自立して学習できる。

4. 統合的な学習経験と創造的思考力

これまで獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、自らが立てた新たな課題にそれらを適用し、その課題を解決する能力

資料:中央教育審議会答申「学士課程教育の構築に向けて」(平成20年12月)